

特集『面接ガイドPART4』

PART 3からの続き6 着席の仕方<ポイント>

- ①いきなり座らないこと。
- ②まず椅子の左側に立つ。
- ③面接官から「どうぞ」と言われてから着席する。
- ④着席するときは「失礼します」と言ってから、静かにゆっくり座る。
- ⑤背筋を伸ばして、深く腰かける。

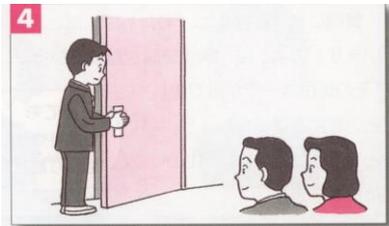
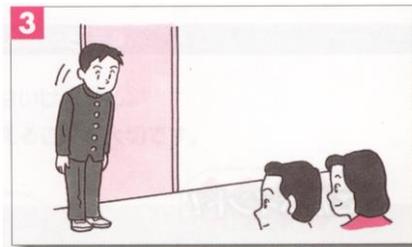


1 <面接官が「面接を終わります」「ごろうさま」などと面接が終わったことを告げたら、イスの左側に静かに立って「ありがとうございました」と一礼をする。>

2 <回れ右をして、静かに背筋を伸ばしてドアまでゆっくりと歩く。>



3 <ドアの前で面接官の方に向き直りもう一度一礼をする。>



4 <静かにドアを開けて退室する。>

☆面接が終わっても家に着くまで気をゆるめないこと。
 帰宅するまで、全てが面接！！
 ☆合格発表日の掲示や注意書きなどの見落としがないか確認する。

ここがポイント！！

☆動作の基本は、あわてないこと。

☆ながら動作をしない。
 ダラダラした印象を与える動作はしない。

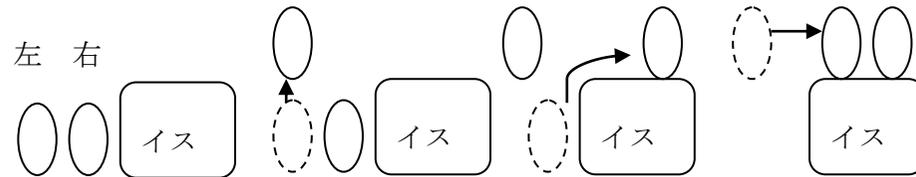
☆深く腰かけると、姿勢が崩れにくくなる。

★正しいおじぎのしかた★

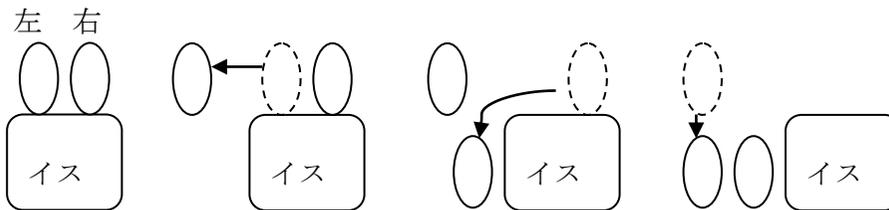
- 1 あごを引き、30度くらい頭を下げる。
- 2 背中を丸めず、腰から上を折り曲げる。
- 3 男子はかかとをつけ、つま先を少し開く。女子はつま先を開かず、両足をそろえる。
- 4 指先をのぼし、手は体の横におく。女子は礼をするとき、手をひざの前にもってきてもよい。



【座るときの足運び】



【立つときの足運び】



足を出して歩いてみもしないで、あきらめてしまつては、土の上に生まれてきた甲斐がありません。

あきらめが役に立つのは、新しくやり直す時だけです。

あきらめる理由を考えることに巧みな人間には、決してなまじ。

むの たけじ